

解答

一

- 問一 ① えしゃく ② ほうがく ③ だま〔って〕 ④ せま〔い〕 ⑤ めかた
問二 (あ) 女 (い) 4 人
問三 (あ) 直喩 (い) 棒のように立って (う) サアベル
問四 制せない
問五 のれん
問六 鶏
問七 イ
問八 (あ) 飯鉢 (い) エ
問九 中野が、馬に乗らずに歩いている理由
問十 馬
問十一 勝手の物をこまかして、自分の家の暮らしを立てている
問十二 エ

二

- 問一 ① 習得 ② 口調 ③ 防止 ④ 財産 ⑤ 温床
問二 ア
問三 (1) カ (2) キ (3) イ
問四 見ている
問五 主人 ウ 客 エ
問六 (あ) ア (い) イ・エ
問七 ウ

三

- 問一 (あ) 202 (い) 206
問二 規則がその適用の仕方を決定できない (から)
問三 盲目的に
問四 その生徒以外のすべての人
問五 理性的説明
問六 エ
問七 すべての根拠付けがそこから始まる岩盤
問八 普通は、規則の中に従い方の正しさが示されており、規則を理解しているから正しい行動が実践されると考えるが、実際には、規則と一致した行動が実践されることで、規則が正しく理解されていることになるということ。

解説

一

- 問十一 「石田」は、隣の女から「雇い婆さんが勝手の物をこまかして、自分の家の暮らしを立てているのも知るまい」と言われ、知人からも「婆さんが風呂敷包みを持って出ていくというのだ。：妻がひどく心配していたよ。」と告げられています。その場はこまかしたものの「それじゃあ自分のうちへも沢山漬けたのだろう」とまで言われ、婆さんへの疑いを確信したと読み取れます。

三

- 問八 筆者は、数列の例をあげながら、「われわれは普通、規則そのものの中にそれへの従い方の正しさが指定されている、と考えている」が、「規則を正しく理解しているから一致した行動が生まれるのではなく、逆に一致した行動が為されるから規則が正しく理解できるのである」と述べています。